

古い道具と昔のくらし

～県立歴史館で、かわってきた人びとのくらしや道具を調べよう！～
学習指導計画の参考例

1 単元の目標

身のまわりにある古いもの、道具や家屋、交通の移り変わりなどを中心に取り上げ、見学や聞き取り、年表にまとめるなどの具体的な活動をする中で、自分たちのまちの人々の生活は、およそ100年くらいの間に大きくかわってきたことを理解させると共に、地域の文化財や年中行事に関心をもたせ、ふるさとを大切にしていこうとする心情を養う。

2 単元展開案

第1次 古い道具と昔のくらし (全8時間扱い)

時間	学習問題	学習活動	備考
1	私たちの身のまわりには、どんな古いものがあるでしょうか。	学校や家のまわりにある古い建物や古い道具などについて話し合う。	寺社や古い道具の写真
2	古い道具には、どんないいところ(工夫や知恵)があるでしょうか。	学校の資料室にある古い道具を探したり、使ってみたりする。	学校の資料室の道具類
3	昔のくらしと今のくらしは、どんなところがちがうでしょうか。	昔のくらしと今のくらしのちがいを教科書の絵を見て話し合おう。	教科書の挿絵(家屋)
4	歴史館に見学に行って、昔のくらしについて調べよう。	明治、大正、昭和のくらしの移り変わりを展示を見ながら調べる。	県立歴史館での学習
5	家族の子どもの頃の道具や遊びは、どうだったか調べる計画を立てよう。	家族の誰に、どんなことを聞かか計画を立てる。(家庭学習として)	
6・7	道具は、わたしたちのくらしをどのように変えたのでしょうか。	調べたことをもとに、テーマを決めてグループごとに道具年表をつくろう。	教科書の年表
8	(料理・洗濯・遊び・照明・暖房器具など)テーマごとの道具年表を見て、わかったことや考えたことを話し合おう。	テーマ別の道具年表を発表し合い、どんな工夫や知恵がまっているか、みんなで話し合う。	テーマ別年表

第2次 のこしたいもの、つたえたいもの (全5時間扱い 省略)

3 本時略案

(1) ねらい

昔のくらしについて調べようと考えている子どもたちが、4つの展示コーナーの展示物を見たり体験したりすることを通して、道具や生活の変化に興味・関心をもって調べようとしている。

(2) 展開

段階	学習活動	予想される児童の反応	・指導 [評価]	時間	備考
導入	1 学習問題を確認する。	・歴史館には、どんな昔の展示があるかな。	・4つの時代のコーナーについて、調べ活動をする見通しや注意事項を確認する。	5	
展開	2 3クラスに分かれて展示を見ながら調べる。	①江戸の農家のコーナー ②明治のお仕事コーナー ③大正の学校コーナー ④昭和の生活コーナー	・学習カードを使いながら、展示の説明を聞いたり、体験したりして学習を進めるように指示する。	75	学習カード
	(③④のコーナーはセットで1クラス。25分×3)	・4か所移動するんだな。 ・わからないことは、各	・時間になったら、次のコーナーへ移動するように指示する。 ・歴史館職員がそれぞれのコーナー		

		コーナーの先生に聞けばいいんだな。	に待機し、簡単な説明や質疑応答を行う。		
終末	3	わかったことや感想をまとめ発表する。	・100年前の仕事や昔の道具を見つけたよ。 ・昔遊びが楽しかった。	[評価] 展示を見たり、体験したりして、道具や生活の変化に興味・関心をもてたか。(関心・意欲)	10

4 歴史館の展示を活用した本時の構想

(1) 江戸時代の農家の展示コーナー

(江戸時代に造られた農家であるが、農家も道具も昭和まで使われていた)

【学習問題の例】明治～昭和（150～数10年ほど前）の農家の人たちは、どんな生活をしていたでしょうか。建物や道具を調べてみよう。

- ・この農家の建物は、今の建物（自分の家）と比べて、どこが、どのようにちがうのかな。明るさ、壁や窓、天井や屋根、玄関や部屋、家にいる動物
- ・どんな道具を使っていたのかな。道具を見たり、さわったり、使ったりして調べてみよう。道具を絵に描いてみよう。(興味を持った物をいくつか描く)
その道具の名前や使い道は何だろう。(名前は事典のコピーあり。質問もできる。)

(2) 松代にできた近代製糸工場の展示コーナー

【学習問題の例】明治時代（120年ほど前）の人たちは、どんな仕事をしていたでしょうか。

- ・本物の繭を触ったり、臭いをかいだりしてみよう。どんな感じがしますか。
- ・蚕を育てる仕事や、繭から糸をとる工場の様子を調べよう。
- ・虫なのに、なんで「お蚕さま」って呼ばれたのかな。自分の考えを書こう。
- ・糸をとる工場に働いていた女の人たちの「食事」や「服装」をメモしよう。
- ・家や親せき、近所のお年寄りに、お蚕さまを育てる仕事について聞いてみよう。

(3) 大正時代の小学校の教室の展示コーナー

【学習問題の例】大正時代（100年ほど前）の小学校は、どんな様子でしょうか。

- ・今の私たちの教室と比べて、同じところや違うところを探してみましょう。
- ・大正時代の子どもたちは、どんなものを使って学習していたでしょうか。
- ・実際に机に座ってみましょう。どんな感じがしますか。
- ・家や親せき、近所の人などに、子どもころの学校の様子を聞いてみよう。(勉強した教科、行事、給食、遊びは、どうだったのかなあ？ 私たちと比べてみるとおもしろい。)

(4) 戦後の高度経済成長期の展示コーナー

【学習問題の例】昭和時代（数10年前）の人たちはどんな生活用品を使っていたでしょうか。

- ・家にあるテレビや洗濯機と比べて、似ているところや違っているところを見つけましょう。
- ・昭和のころの子どもたちの遊び道具を使って、遊びましょう。どんな感想を持ちましたか。
- ・家や親せき、近所の人などに、子どもころの生活用品やどんな遊びをしていたか、聞いてみましょう。

5 学習カード

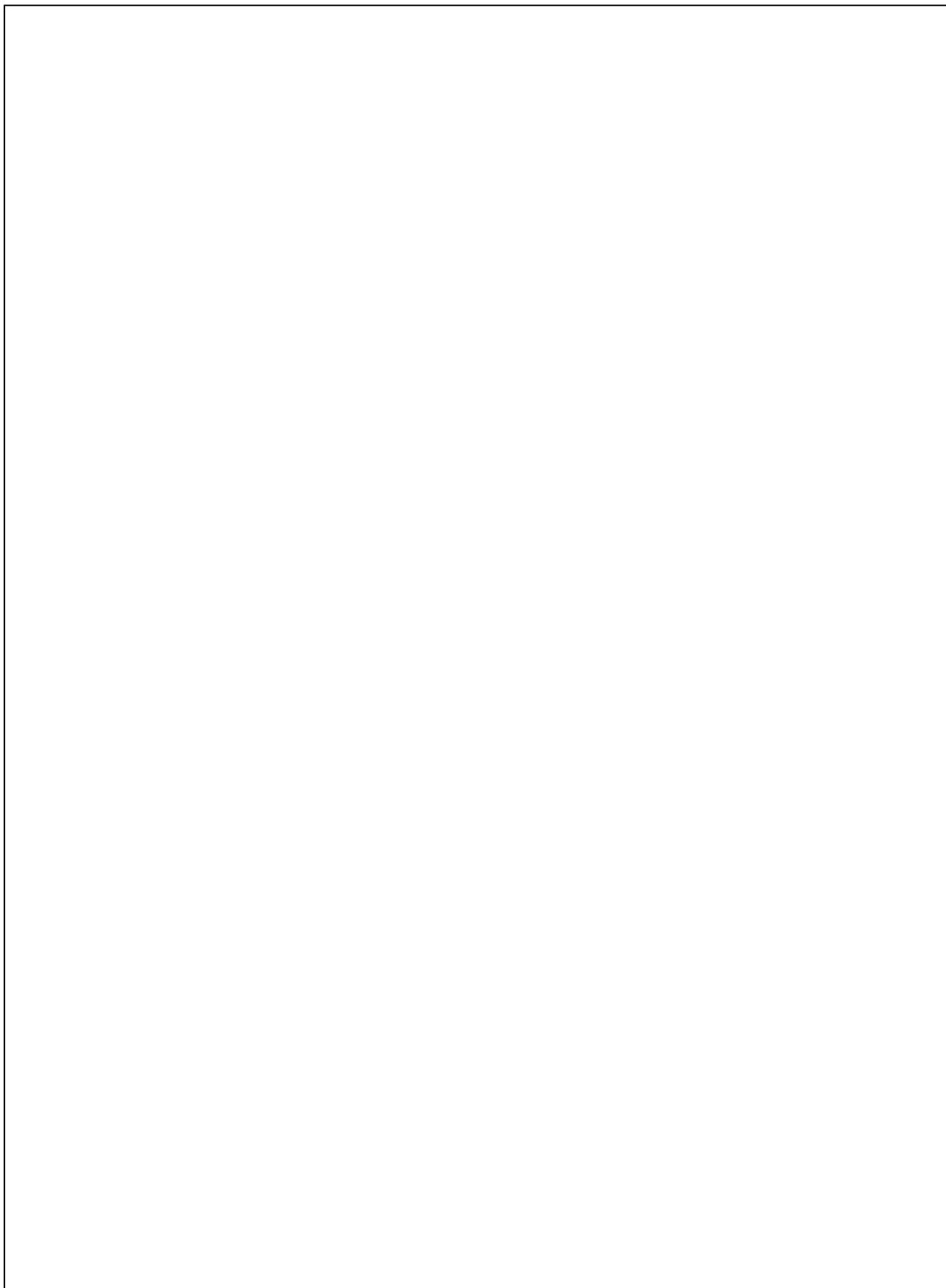
1 ^{のうか}農家と どうぐ

【学習問題】昔の農家の人たちは、どんな生活をしていたのでしょうか。
たてものや どうぐを しらべてみよう。

(1) この農家は、今の家(自分の家)とくらべて、どこが、どのようにちがうのでしょうか。

この農家 (昔の家)	どこが	自分の家 (今の家)
	明るさ	
	かべ	
	天井	
	やね	
	げんかん	
	へや	
	家の動物	
	そのほか	

(2) どんなどうぐを使っていたのでしょうか。どうぐを見たり、さわったり、使ったりしてみよう。
いくつかのどうぐを絵にかいてみよう。 名前は何? どうやってつけたのかな?



2 松代にできた近代製糸工場

【学習問題】明治時代(120年ほど前)の人たちは、どんな仕事をしていたでしょうか。

- (1) 本物の繭をさわったり、においをかいだりして よーく観察してみよう。



【三たぐイズ1】一つの繭からおよそ何メートルの糸がとれるかな？

- ①100メートル ②500メートル ③1000メートル

【気づいたこと、感じたことをメモしよう！】

・におい

・ふったときの感じ

- (2) 蚕を育てる仕事や、繭から糸をとる工場の様子を調べよう。

何のために蚕を育てていたのかな？

糸をとる工場の様子をよく見て、気づいたことを「三つ」書きましょう。どんなことでもいいぞ。

①

②

③

- (3) 虫なのに、なんで「お蚕さま」って呼ばれたのかな。自分の考えを書こう。

- (4) 糸をとる工場で働いていた女の人たちの「食事」や「服装」をメモしよう。

着ていた服	働いていた女の人たちが食べていた食事
	

- (5) おうちに帰ったら、家やしんせき、きんじょの人に、お蚕さまを育てる仕事について聞いてみよう。

3 たいしやう 大正時代の学校の教室

【学習問題】大正時代(100年ほど前)の小学校は、どんな様子でしょうか。

(1) 今の私たちの教室と比べて、同じところや違うところを探してみましょう。

今の学校の教室と同じところ	ちがっているなあと思うこと

(2) 大正時代の子どもたちは、どんなものを使って学習していたでしょうか。



今のソロバンと、ちがっていないかな？

(3) 教室に入ってみましょう。どんな感じがしますか。



(4) おうちへ帰ったら、家や しんせき、きんじょの人に、子どもころの学校の様子を聞いてみよう。

☆勉強していた教科、行事、給食、遊びは、どうだったのかなあ？
今の私たちとくらべてみると、とってもおもしろいよ。

4 昭和の生活

【学習問題】昭和時代(50年～80年前)の人たちはどんな生活用品を使っていたでしょうか。

- (1) 下の写真は、昭和時代に作られた洗濯機です。洗濯機は昭和30年代に広く使われるようになってきます。洗濯機が登場する前のお洗濯は、左の絵のように行われていました。洗濯機が登場したことで、生活にどんな変化がうまれたでしょうか。絵をくらべながら話し合ってみましょう。



→
本物
は
コレ



- (2) この展示コーナーには、洗濯機以外にも昭和時代に使われていた電気製品や機械が展示してあります。どれか一つを選び、今みなさんの家で使っているものとくらべて、ちがいを書きましょう。

【えらんだもの】

今の製品とのちがい

- (3) 昭和のころの子どもたちの遊び道具を使って、遊びましょう。感想も書こう。



- (4) おうちに帰ったら、家やしんせきなどのおとなに、子どもころの生活用品やどんな遊びをしていたか、聞いてみよう。